

被保険者番号

主治医意見書

記入日 令和 6年 1月31日

申請者	(ふりがな)	男 女	〒 ××× - ××××
	A		B県〇〇市
	明大(昭)10年 1月25日生(88)歳		連絡先 〇〇〇〇()

上記の申請者に関する意見は以下の通りです。

主治医として、本意見書が介護サービス計画作成及び

総合事業における介護予防ケアマネジメントのケアプラン作成に利用されることに 同意する。 同意しない。

医師氏名

医療機関名 〇〇リハビリテーション病院

電話

医療機関所在地

FAX

(1) 最終診察日	令和 5年 1月 31日
(2) 意見書作成回数	<input checked="" type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 2回目以上
(3) 他科受診の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有の場合) → <input checked="" type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 婦人科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 <input type="checkbox"/> 歯科 <input type="checkbox"/> その他 ()

1. 傷病に関する意見

(1) 診断名(特定疾病または生活機能低下の直接の原因となっている傷病名については1.に記入)及び発症年月日
1. 右大腿骨頸部骨折(人工骨頭置換術) 発症年月日 (昭和・平成(令和) 6年 11月 3日頃)
2. 骨粗鬆症 発症年月日 (昭和(平成)令和 12年 6月 1日頃)
3. 慢性心不全、心房細動、高血圧 発症年月日 (昭和(平成)令和 25年 2月 25日頃)
(2) 症状としての安定性 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> 不明 (「不安定」とした場合、具体的な状況を記入)
(3) 生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾病の経過及び投薬内容を含む治療内容 (最近(概ね6ヵ月以内)介護に影響のあったもの及び特定疾病についてはその診断の根拠等について記入) 令和5年11月3日に自宅内で転倒し右大腿骨頸部骨折を起こした。市立病院に救急搬送され、2日後に右人工骨頭置換術を施行した。術後は当院に転院し、翌日からリハビリテーションを開始した。 現在の状況:歩行は屋内短距離ならば独歩可能。また、シルバーカーを押して屋内歩行自立。歩行時や足の曲げ伸ばして右股関節痛あり。痛みの強さは10段階評価で4~5程度、消炎鎮痛剤の服用で軽減する。痛みのため長距離の歩行は難しい。骨粗鬆症あり。身長149cm 体重50kg BMI 22.5

2. 特別な医療(過去14日間以内に受けた医療のすべてにチェック)

処置内容	<input type="checkbox"/> 点滴の管理 <input type="checkbox"/> 中心静脈栄養 <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> ストマの処置 <input type="checkbox"/> 酸素療法
	<input type="checkbox"/> レスプレーター <input type="checkbox"/> 気管切開の処置 <input type="checkbox"/> 疼痛の看護 <input type="checkbox"/> 経管栄養
特別な対応	<input type="checkbox"/> モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) <input type="checkbox"/> 褥瘡の処置
失禁への対応	<input type="checkbox"/> カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)

3. 心身の状態に関する意見

(1) 日常生活の自立度等について
・障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度) <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> J1 <input type="checkbox"/> J2 <input checked="" type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2
・認知症高齢者の日常生活自立度 <input type="checkbox"/> 自立 <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M
(2) 認知症の中核症状(認知症以外の疾患で同様の症状を認める場合を含む)
・短期記憶 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
・日常の意思決定を行うための認知能力 <input type="checkbox"/> 自立 <input checked="" type="checkbox"/> いくらか困難 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 判断できない
・自分の意思の伝達能力 <input checked="" type="checkbox"/> 伝えられる <input type="checkbox"/> いくらか困難 <input type="checkbox"/> 具体的な要求に限られる <input type="checkbox"/> 伝えられない
(3) 認知症の行動・心理症状(BPSD) (該当する項目全てにチェック:認知症以外の疾患で同様の症状を認める場合を含む)
<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 幻視・幻聴 <input type="checkbox"/> 妄想 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 暴言 <input type="checkbox"/> 暴行 <input type="checkbox"/> 介護への抵抗 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 火の不始末 <input type="checkbox"/> 不潔行為 <input type="checkbox"/> 異食行動 <input type="checkbox"/> 性的問題行動 <input type="checkbox"/> その他 ()
(4) その他の精神・神経症状
<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 [症状名: 抑うつ傾向 専門医受診の有無 <input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無]

被保険者番号									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(5) 身体の状態

利き腕 (右 左) 身長 149 cm 体重 50 kg (過去6ヶ月の体重の変化 増加 維持 減少) 男・女

四肢欠損

麻痺 (部位: 右上肢 軽 中 重 左上肢 軽 中 重) 右下肢 軽 中 重) 左下肢 (程度: 軽 中 重) その他 (部位: _____ 程度: 軽 中 重)

筋力の低下 (部位: 右下肢 程度: 軽 中 重)

関節の拘縮 (部位: _____ 程度: 軽 中 重)

関節の痛み (部位: 右股関節 程度: 軽 中 重)

失調・不随意運動 (部位: 右 左 右 左 程度: 軽 中 重)

褥瘡 (部位: _____ 程度: 軽 中 重)

その他の皮膚疾患 (部位: _____ 程度: 軽 中 重)

4. 生活機能とサービスに関する意見

(1) 移動

屋外歩行 自立 介助があればしている していない

車いすの使用 用いていない 主に自分で操作している 主に他人が操作している

歩行補助具・装具の使用 (複数選択可) 用いていない 屋外で使用 屋内で使用

(2) 栄養・食生活

食事行為 自立ないし何とか自分で食べられる 全面介助

現在の栄養状態 良好 不良

→ 栄養・食生活上の留意点 (食事内容のバランスが悪い。摂取カロリーが少ない。塩分が多い。)

(3) 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針

尿失禁 転倒・骨折 移動能力の低下 褥瘡 心肺機能の低下 閉じこもり 意欲低下 徘徊

低栄養 摂食・嚥下機能低下 脱水 易感染性 がん等による疼痛 その他 ()

→ 対処方針 ()

(4) サービス利用による生活機能の維持・改善の見通し

期待できる 期待できない 不明

(5) 医学的管理の必要性 (特に必要性の高いものに下線。予防給付により提供されるサービスを含む。)

訪問診療 訪問看護 訪問歯科診療 訪問薬剤管理指導

訪問リハビリテーション 短期入所療養介護 訪問歯科衛生指導 訪問栄養食事指導

通所リハビリテーション 老人保健施設 介護医療院 その他の医療系サービス ()

特記すべき項目なし

(6) サービス提供時における医学的観点からの留意事項 (該当するものを選択するとともに、具体的に記載)

血圧 () 摂食 () 嚥下 ()

移動 (転倒注意) () 運動 () その他 ()

特記すべき項目なし

(7) 感染症の有無 (有の場合は具体的に記入してください)

無 有 () 不明

5. 特記すべき事項

要介護認定及び介護サービス計画作成時に必要な医学的など意見等を見守りに影響を及ぼす疾病の状況等の留意点を含め記載してください。特に、介護に要する手間に影響を及ぼす事項について記載してください。なお、専門医等に別途意見を求めた場合はその内容、結果も記載してください。(情報提供書や障害者手帳の申請に用いる診断書等の写しを添付していただいても結構です。)

右股関節の運動時・荷重時痛があり、歩行などのADLの回復は不十分。痛みをコントロールし、リハビリテーションを継続することにより、ADLの向上は期待できる。入院中、慢性心不全は安定しているが、自宅では内服忘れがあった様子で腎機能低下もあり、退院後は慢性心不全の悪化予防に注意が必要になると考える。

前回の要介護認定における主治医意見書作成時点と比較して

「介護の必要度」が 少なくなった ・ あまり変わらない ・ 多くなった

要介護認定結果の情報提供を希望 : する しない